



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グルメ杵屋  
コード番号 9850 URL <http://www.gourmet-kineya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,099	1.9	496	△30.8	515	△29.7	660	9.1
28年3月期第3四半期	29,530	5.9	717	488.4	732	454.5	605	658.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 683百万円 (32.7%) 28年3月期第3四半期 514百万円 (△0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	29.25	—
28年3月期第3四半期	26.80	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	32,989	14,854	44.2	645.46
28年3月期	33,460	14,486	42.3	626.80

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 14,578百万円 28年3月期 14,158百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	40,336	4.6	459	1.1	478	3.6	134	△63.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	22,610,359 株	28年3月期	22,610,359 株
29年3月期3Q	23,619 株	28年3月期	21,039 株
29年3月期3Q	22,588,486 株	28年3月期3Q	22,593,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速や不透明感の漂う米国の動向などを受けて為替・株式市場が不安定に推移し、依然として景気の見通しに確信の持てない状況が続きました。

外食産業を取り巻く環境は、人材不足による人件費高騰や競合他社による積極的な出店による影響により顧客獲得に向けた企業間競争は激化しており厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社では、当期は設立から50年の節目の年であり、「新3ヶ年中期経営計画」を始動いたしました。初年度である当期は2年目以降における成長ステージの礎となるシーズを生み出す年度として、「主力事業であるレストラン事業の収益力の強化」「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高300億99百万円（前年同期比5億69百万円増）、営業利益4億96百万円（前年同期比2億21百万円減）、経常利益5億15百万円（前年同期比2億17百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億60百万円（前年同期比55百万円増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進いたしました。その結果、新規出店2店舗（前年同期8店舗）、退店14店舗（前年同期8店舗）を行い、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は41都道府県に426店舗となりました。改装は18店舗実施し、このうち6店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上は順調に推移しましたが、退店による店舗数減少により減収となったものの、コストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は212億70百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は9億9百万円（前年同期は8億57百万円の利益）となりました。

## (機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングの関西国際空港の機内食工場においては、バリ同時多発テロ以降ヨーロッパ及び中東における航空会社の乗客数減少と、中国の乗客数の伸び悩みにより受注が回復せず減収となり、原材料及び労務費等のコストコントロールの効果が及ばなかった事及び福岡新規工場の開業準備に伴うコストアップ等により減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は34億54百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント損失1億88百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

## (業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒケータリングにおいては、本社工場の冷凍食品の製造受注が大幅に増加し増収になりましたが、本社工場維持コストアップ等により減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は22億9百万円（前年同期比45.3%増）、セグメント利益28百万円（前年同期は89百万円の利益）となりました。

## (不動産賃貸事業)

大阪木津市場㈱の地方卸売市場の入居率が改善した結果、増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は4億95百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益2億24百万円（前年同期は2億11百万円の利益）となりました。

## (運輸事業)

水間鉄道㈱においては鉄道及びバス旅客数が減少したことにより減収となりました。コストコントロールの効果も及ばず減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億37百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント損失52百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

## (その他)

大阪木津市場㈱で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少し減収になりましたが、コストコントロールの効果が及び増益となりました。日本食糧卸㈱で展開しております米穀卸売事業は値上げの効果により増収になりましたが、仕入単価の上昇により減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は23億32百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント損失6百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少して329億89百万円となりました。これは主に現金及び預金16億47百万円の減少及び売掛金11億68百万円の増加によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円減少して181億34百万円となりました。これは主に借入金14億59百万円及び未払消費税等2億64百万円の減少と社債4億30百万円及び買掛金4億83百万円の増加によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円増加して148億54百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益6億60百万円の計上及び配当金の支払い2億71百万円等の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.3%から44.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社では主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

これは、設備投資コストを資産の使用実態に応じて配分し、収益と減価償却費との合理的な対応を図り、より適切な期間損益計算を行うため、定額法に変更するものであります。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ96,706千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,225,408	5,577,488
預け金	940,656	979,880
売掛金	1,073,012	2,241,949
商品及び製品	174,886	294,128
原材料及び貯蔵品	185,087	280,675
短期貸付金	6,846	6,580
繰延税金資産	115,132	115,132
その他	635,878	597,226
貸倒引当金	△3,565	△4,872
流動資産合計	10,353,343	10,088,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,982,835	25,452,213
減価償却累計額	△18,474,995	△18,582,692
建物及び構築物(純額)	6,507,839	6,869,520
機械装置及び運搬具	2,450,034	2,505,373
減価償却累計額	△1,983,987	△2,052,625
機械装置及び運搬具(純額)	466,047	452,748
工具、器具及び備品	1,585,180	1,672,280
減価償却累計額	△1,293,709	△1,311,795
工具、器具及び備品(純額)	291,470	360,484
土地	7,895,781	7,759,381
建設仮勘定	362,930	43,982
有形固定資産合計	15,524,069	15,486,116
無形固定資産		
投資その他の資産	53,387	53,096
投資有価証券	1,003,014	1,023,235
長期貸付金	94,897	81,301
差入保証金	6,327,213	6,129,221
その他	125,831	146,685
貸倒引当金	△20,849	△18,532
投資その他の資産合計	7,530,107	7,361,911
固定資産合計	23,107,564	22,901,125
資産合計	33,460,907	32,989,314

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,157,869	1,640,893
短期借入金	300,000	650,000
1年内償還予定の社債	140,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	3,189,240	2,887,824
未払金	388,282	247,171
未払費用	1,692,613	1,765,788
リース債務	29,220	21,662
未払法人税等	106,340	213,833
未払消費税等	437,274	172,571
賞与引当金	88,818	74,397
資産除去債務	43,469	40,275
その他	192,897	207,552
流動負債合計	7,766,026	8,161,969
固定負債		
社債	560,000	890,000
長期借入金	7,180,986	5,673,118
長期未払金	60,540	30,455
リース債務	79,659	63,388
繰延税金負債	1,459,773	1,459,998
資産除去債務	1,132,458	1,121,352
転貸損失引当金	21,750	19,500
退職給付に係る負債	151,904	143,059
その他	561,287	571,588
固定負債合計	11,208,359	9,972,462
負債合計	18,974,385	18,134,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,767,578	6,774,549
利益剰余金	1,378,073	1,767,729
自己株式	△18,745	△21,286
株主資本合計	13,965,143	14,359,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,235	242,231
退職給付に係る調整累計額	△28,406	△22,706
その他の包括利益累計額合計	193,828	219,524
非支配株主持分	327,550	276,129
純資産合計	14,486,521	14,854,882
負債純資産合計	33,460,907	32,989,314

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	29,530,397	30,099,891
売上原価	17,973,566	18,603,984
売上総利益	11,556,831	11,495,906
販売費及び一般管理費	10,839,183	10,999,280
営業利益	717,647	496,625
営業外収益		
受取利息	4,675	4,024
受取配当金	12,558	15,817
仕入割引	7,680	6,342
賃貸料収入	81,746	74,045
その他	38,108	41,672
営業外収益合計	144,769	141,902
営業外費用		
支払利息	94,350	76,207
社債発行費	—	8,661
賃貸費用	30,431	34,873
その他	4,745	3,443
営業外費用合計	129,527	123,186
経常利益	732,888	515,341
特別利益		
固定資産売却益	5,255	456,545
投資有価証券売却益	161,854	—
その他	10,236	29,872
特別利益合計	177,346	486,417
特別損失		
固定資産除却損	51,160	28,098
減損損失	99,564	97,767
商品廃棄損	8,003	—
その他	1,768	12,316
特別損失合計	160,496	138,183
税金等調整前四半期純利益	749,738	863,576
法人税、住民税及び事業税	131,769	206,470
法人税等合計	131,769	206,470
四半期純利益	617,968	657,106
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,428	△3,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	605,540	660,728



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	617,968	657,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,977	19,995
退職給付に係る調整額	5,994	6,273
その他の包括利益合計	△102,982	26,269
四半期包括利益	514,986	683,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502,004	686,421
非支配株主に係る四半期包括利益	12,981	△3,045

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	21,325,533	3,479,816	1,520,915	493,345	358,014	27,177,624	2,352,773	29,530,397	—	29,530,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	9,448	371,620	—	46,574	427,725	531,411	959,136	△959,136	—
計	21,325,614	3,489,264	1,892,536	493,345	404,588	27,605,349	2,884,184	30,489,534	△959,136	29,530,397
セグメント利益又は 損失(△)	857,581	△33,205	89,963	211,372	△19,977	1,105,734	14,691	1,120,425	△402,777	717,647

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△402,777千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を99,564千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	21,270,335	3,454,877	2,209,758	495,300	337,196	27,767,468	2,332,423	30,099,891	—	30,099,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,809	301,336	—	47,083	357,230	689,660	1,046,891	△1,046,891	—
計	21,270,335	3,463,686	2,511,095	495,300	384,280	28,124,698	3,022,084	31,146,782	△1,046,891	30,099,891
セグメント利益又は 損失(△)	909,023	△188,090	28,927	224,868	△52,616	922,112	△6,091	916,021	△419,395	496,625

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△419,395千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社では主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「レストラン事業」で81,923千円増加し、セグメント損失がそれぞれ「機内食事業」で12,867千円、「調整額」で1,916千円減少しております。